

決定戦

最終章

いよいよ、最後の決豆へ

最強毛豆



出品者募集

出品申し込み締切日

2019 **8.30** 金

イベント
開催日 **9.20** 金 18:30~

会場

津軽弘前屋台村かだれ横丁 青森県弘前市百石町2-1
※専用の駐車場はございませんので、最寄りのコインパーキングをご利用ください。

出品費

塩茹でした毛豆 2~3kg(約7~8本分)

賞

グランプリ・金・銀・銅賞

青森
毛豆



お申し込み方法▶ 青森毛豆研究会ホームページお申し込みフォームもしくは裏面で記入の上、FAXでお申し込みください。

「うちの毛豆が一番美味しい!」と自信をもつ生産者さま、募集中です。

「うちの毛豆はとても甘い。」「うちの毛豆はとても毛深い。」「酒に合うのはうちの毛豆だ!」青森県民なら誰もが美味しい!と疑わないこの“毛豆”。青森県在来の枝豆と言われる“毛豆”は代々受け継がれ、こだわりの栽培で味わいが向上してきたにも関わらず、枝豆の需要が高まる盛夏よりも収穫期が遅いことなどを理由にそのほとんどが県外不出、自家消費されてきました。

この現状を打破するために始まったイベント、最強毛豆決定戦は、毛豆の魅力を再認識していただくため、最も美味しく、毛豆らしさのある、最強の毛豆を選び出すイベントです。青森県の毛豆ファンを増やす為、あなたも自慢の“毛豆”を出品してみませんか?

青森毛豆研究会とは? 青森毛豆を広く知って頂き、青森県の特産品としてブランド化することを目的とし活動する任意団体です。

出品条件

- **青森県在来の毛豆の生産者**による出品であること。
- イベント当日 9月20日(金) 15時~16時の間に会場(かだれ横丁)に **「塩ゆでした毛豆」2~3kg(約7~8本分)持参**できること。
- 入賞した毛豆はブランド化に向け、種苗登録を行う可能性があるため、「青森毛豆研究会」に **種子を提供**できること。

◀青森県在来の毛豆とは?▶

- ・青森県在来の「毛豆」として受け継がれている。
- ・種皮が緑色でへそが黒色または淡黒をしている“黒目青大豆”系である。
- ・莢(さや)や莖葉に茶褐色の毛が数多く生えている。
- ・晩生種であり、収穫時期がおおむね9月中旬以降である。
- ・品種登録がされていない。※福丸・豊丸は青森県在来の毛豆ではありません。

「毛豆」出品申込み締切

2019 **8/30**(金)

条件(茹で方)

- 毛豆本来の味を評価するため、使う塩は **“精製塩”** を使って調理をしていただくこと。
- 決定戦当日、「ゆで時間」をお伺いするため、出品する毛豆を **ゆでる時間を計り**、お知らせいただくこと。
- ゆでる前の塩もみや莢(さや)の端をカットして調理した場合は当日スタッフにお申し出ください。

審査方法

一般入場者と審査員により、以下の項目で審査を行います。

1. 試食によるおいしさ
2. 応募用紙に記載された毛豆の「栽培のこだわり」(事前審査)
3. 毛豆らしい形状・外見の適合性(事前審査)

出品方法

申込用紙をご記入の上、FAX(0172-26-7410)かホームページからお申し込みください。

- ※応募者多数の場合は、書類審査で応募者を決定致します。
- ※農園及び個人での複数の毛豆の応募はできません。

ホームページからの
お申し込みはこちら



フリガナ	フリガナ
農園名	代表者名 (歳)
電話番号	※携帯など連絡が取れる番号をご記入下さい
住所	

以下の項目は審査の対象項目となりますので、できるだけご記入お願いいたします。

毛豆の栽培場所はどこですか?	
栽培はいつからしていますか?	種はどこで入手しましたか?
栽培方法のこだわりを教えてください。	



FAX: 0172-26-7410

上の欄にご記入の上、左記番号へ送信下さい。

青森毛豆研究会事務局 | 住所: 036-8035 青森県弘前市百石町 38-1 株式会社コンシス内 電話: 0172-34-9710 / メール: info@kemame.jp

青森毛豆
AOMORI KEMAME

青森毛豆研究会は、青森の在来と言われる「毛豆」の普及活動や、青森県の特産品としてブランド化することを目的に活動しております。
青森毛豆研究会に関する詳しい情報・お問い合わせはホームページをご覧ください。

